

パリPFからの情報提供

ジェトロ パリ事務所

本資料は情報提供を目的に作成したものです。
資料の正確性の確認と採否はお客様の判断で行ってください。
JETRO及び主催者は本資料に起因して発生した損害・不利益等
について、一切責任を負いません。

2024年11月28日

I SIAL Paris 2024 に係る報告

Copyright © 2024 JETRO. All rights reserved.

2024年10月19日～23日までの5日間、パリ郊外・ヴィルパントにおいて、欧州最大級の食品見本市・SIAL Parisが開催された。

主催者発表

【出展者】

127か国、7,500社

上位5か国

イタリア、フランス、
スペイン、トルコ、中国

※60%が欧州

【来場者】

285,000人（前回から8%増）

上位5か国

フランス、イタリア、
スペイン、イギリス、
オランダ

※78.5%が仏国外

ジャパンパビリオン

10回目の設置

81社・団体が参加（過去最多）

総合食品ホール及び飲料ホールの2か所

サイドイベント(10/21夜)

全国知事会及び農林水産省と共催

3県（宮城・岐阜・三重）の知事が出席

14県がブース出展

118名（現地バイヤー等）が来場

SSR（サンプルショールーム）事業とは

- ・ 新規に輸出に取り組む者を主な対象（初心者向けの位置付け）
- ・ 「サンプル」を現地に送り、現地のバイヤー等とマッチングすることで商談成立を目指す
- ・ リアル商談会が困難なコロナ禍に開始
- ・ 「ショールーム」運営は流動的

フランス市場取組方針

【現状】

パリを拠点とするインポーター＝ディストリビューターの取扱が固定化

【方針】

地方都市における川下のユーザーの発掘 → インポーターの取扱拡大を目指す

【取組】

地方出張し、同地域の飲食店・小売店を招き、数種類の商品を試食試飲しながら意見聴取

SSR地方都市での取組

【開催済】

ディジョン（東部。人口16万人）
ナント（西部。30万人）

【年内開催予定】

トゥールーズ（南部。51万人）
ボルドー（南西部。26万人）

【年明け開催予定】

マルセイユ（南部。87万人）
リヨン（南東部。52万人）
ナンシー（北部。10万人）
レンヌ（西部。23万人）

※パリ：213万人

地方都市での聴取り

ディジョン

- ・ディストリビューターの選択肢が少ない
- ・日本食品の入手経路として有力なのは中華系の食料品店

調味料、酒類、清涼飲料水は日本企業製が多数
冷凍餃子や麺、コメは外国企業製

ナント

- ・日本食品を中心とした食料品店が中心部に複数軒あり、若者が主な顧客

堅実な売れ筋はカレー、ラーメンスープ、韓国海苔、パックご飯、醤油
日本で食べたものを再現したいといって来店する人が増加中